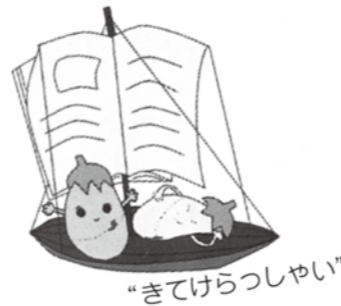


まちとしよ

～大石田町立図書館 information～

大石田町町民交流センター「虹のプラザ」内 ☎ 35-3877
公式HP <http://niji.town.oishida.yamagata.jp/library/>



- 開館時間／午前9時～午後7時（日曜日・祝日は午前9時～午後5時）
- 休館日／毎週木曜日・特別整理期間・年末年始《2月の休館日》7日（休）・14日（休）・21日（休）・28日（休）

行事・展示のおしらせ

日時・場所	内 容
2月の展示	ウィンタースポーツ展示、バレンタイン・スイーツ男子展示、節分関連展示、新美南吉関連展示
2月2日（土） 10:30～11:00 おはなしコーナー	司書によるおはなし会 毎月第1土曜日の30分間は、図書館でおはなしを楽しみませんか？お子さんも親御さんも気軽にどうぞ♪
2月19日（火） 10:00～11:30 虹のプラザ 2階小会議室1	読書会『百人一首』を読む ○申 込 前日まで ☎ 35-3877へ ○テキスト「百人一首」の本をご持参ください。 これから購入される方は「角川ソフィア文庫ピギナーズクラシックス『百人一首』」をご用意ください。

え！あの本も読めるの？

図書館Q&A

〈Q. 探している本が町の図書館にないときは、どうしたらいいですか？〉

A. お探しの本が大石田町立図書館にない場合でも、カウンターのリクエスト用紙に記入していただくか、職員にお尋ねください。他の図書館から借りるなどしてご用意しますので、気軽にご相談ください。
※本によって取り寄せに数日から数週間の時間をいただきます。

あなたに役立つサービス紹介

調査相談サービス	図書館資料の提供だけでなく調査、研究のための情報をお探しします。
子育て応援サービス	隣接する子育て支援センター付近の棚では、育児、妊娠・出産、病気など、子育てに関する資料や情報を提供しています。
医療・健康情報サービス	健康づくりや予防法、病気や薬、医療などに関する資料を提供しています。

今月は、どの本を読む？

一新着図書からピックアップしてご紹介します



『雪かきで地域が育つ』
(上村 靖司ほか編著、コモンズ刊)

過疎化・高齢化が進む中で「雪問題を通して地域が育った」15の事例を解説。将来の雪国に向けての課題も整理してくれる一冊。



公式HPから新着図書が見られます

『カルピスをつくった男 三島海雲』
(山川 徹著、小学館刊)

行商人の三島海雲は、遊牧の地モンゴルで未知なる乳製品に出会った。誕生から100年、日本初の乳酸菌飲料カルピスの産みの親の生涯を辿る。著者は山形県生まれ。

『草々不』
(朝井 まかて著、講談社刊)

武家の身分とときたりに縛られた家、仇討ち、就活、婿入り、剣術、罪と罰。切なくも可らしい人生の諸相を紡いだ、時代小説短編集。



『チョコちゃん』
(椰月 美智子作、そうえん社刊)

小学校に入学したばかりのチョコちゃんは、想像力ゆたかな女の子。可愛らしい絵とともにチョコちゃんの想像の世界を味わえる一冊。



ニュース 玉手箱



決意新たに新春書初め

新 学期のスタートとなる1月7日（月）に大石田中学校で恒例の書初めが行われました。書初めは井上祥子さん（佐田町）が講師となって行われ、はじめに井上さんと、井上さんの書道教室に通う生徒による書道パフォーマンスが行われ、生徒らが今年の干支や生徒会のスローガンを、井上さんが「時場礼」の字を大きな紙に力強く書いて披露しました。

書初めの課題は1年生が「限界に挑む」、2・3年生が「確かな成長」で、井上さんがそれぞれの文字の個性を大切にしながらのびのびと書いた字がよい作品になる、などと指導しながら会場を回り、生徒らは最後の1字まで集中して課題の言葉に取り組みました。



活動地域について地図で説明する村岡さん(右)



海外青年協力隊としてケニアへ

国 際協力機構の青年海外協力隊として1月から2年間ケニアに派遣される村岡智子さん（四日町）が12月19日（水）に役場町長室を訪れて庄司町長から激励を受け、現地での活動について説明しました。

発達障害の子どものための施設で働いていた村岡さんは、現地でストリートチルドレンや補導・保護された子どもたちを一時的に預かる施設で活動されます。村岡さんは「保護される子どもたちの中には、障害を持った子どもが少なからずいるはず」として、「経験を活かして子どもたちの成長を支えたい」と意気込みを語りました。

小正月行事だんごさしに挑戦

小 正月の伝統行事だんごさしが大石田保育園で1月8日（火）に行われました。この日は地域おこし協力隊の2名が保育園を訪れ、子どもたちと歌やゲームなどで遊んだあと、4歳児12名が協力隊の2人と一緒に団子をこねる作業から取り組みました。

子どもたちは保育園の入り口に設置されたミズキの枝に、自分たちでこねた赤、黄、緑、白の色とりどりの団子を次々と刺していき、子どもの手が届く低い枝がいっぱいになってしまうと、先生から抱え上げられて、だんご木全体を色鮮やかに飾り付けていました。

